

# 区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	生きる力・支えあう子育て事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト 乳幼児の育成環境を改善のため、子育てに大事なことをまとめたテキストを作成、配布し、区内全ての乳幼児の保護者が学ぶ機会を設ける。</p> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 新潟医療福祉大学学生が家庭介護セミナーを開催。学生と地域の繋がりを深めながら、支え合いの機運を高め、地域の活性化へと結びつける。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行形態 A5判 16頁 中綴じ製本 フルカラー(4色刷り)</li> <li>・内容 「ママとパパへ」と「ママとパパを応援する全ての人へ」の2部構成とした。どちらもマンガから始まり、手に取りやすく、読まれやすい作りとした。「ママとパパへ」では、ほめることの効果、話しの聞き方など子育ての際に大事なことをまとめた。「ママとパパを応援する全ての人へ」では、ママとパパが悲しくなること、嬉しくなることなどを具体的に列記した。</li> <li>・こんにちは赤ちゃん訪問事業での配付の際は、ケース付き</li> <li>・作成部数 10,000部 同事業での配付のほか、区内保育園・こども園・幼稚園などを通じて配付 子育て支援センター、児童館、児童センター、図書館などの各公共施設に設置</li> <li>・アンケート回収(帯で案内し、ネット回答)</li> </ul> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学学生による家庭介護セミナー開催(全回同一内容)</li> <li>1. 9/21(土)豊栄健康センター 参加者 10人</li> <li>2. 10/12(土)北地区コミュニティセンター 参加者 6人(台風19号の影響で人数減)</li> <li>3. 11/16(土)長浦コミュニティセンター 参加者 14人</li> <li>・学生たちが講師となり、衣服の着替えのお手伝いの実習のほか、レクリエーション、茶話会など交流を行った。</li> <li>・小林委員が日頃の学習知識を活かし、講師として活躍。</li> </ul>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果 この冊子が子育てに役立つと思うかの問いに、大いに思う、思うが合わせて92% 【ご意見・感想より】 まさに悩んでいることが書いてあった。／一人で悩まなくてもいい、「みんなで育児」が心に響いた。／気持ちが楽になった。／漫画により興味が持てた。／家族全員向けがいい。／妻の気持ちが分かった気がする。／お母さんだって休んで良いと言われた気がした。／コンパクトに大切なことがまとまっている。／祖父母に読んでもらいたい。／困ったら相談しようと思った。／など</li> <li>・木崎小学校から先生たちに役立つと、職員用としての送付要望があった。</li> <li>・民間事業者から子育て中の社員向け冊子に一部転載させてほしいとの要望あった。</li> <li>・保護者へ家庭教育の大切さを伝えるだけでなく、北区に子育て応援の輪を広げるといふ目的は達せられたと思われる。</li> </ul> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学で学ぶ学生が、自ら学習した知識や技能を活かし、家庭介護セミナーを開催。学生は発表の場を持ち、参加者は家庭でできる介護の技術を知ることができた。</li> <li>・茶話会の中で、学生は直接参加者の感想を聞くことができた。</li> <li>・学生と地域の繋がりが深まり、支え合いの機運を高めることができた。</li> <li>・令和2年度以降、特色ある区づくり事業(区企画事業)で継続することとなった。</li> </ul>
備考	